



## 7月 園だより

ホームページ <https://www.aen.arakawa.tokyo.jp/youchien/minamisenju2/>



### 幼稚園児の心意気

園長 立石 晃子

令和2年度が始まり1か月が経ちました。この1か月、保護者、地域の皆様のお力添えをいただきながら、幼児と教職員は新しい生活様式を取り入れ緊張感をもちつつ園生活を一日一日と過ごし、ここまで教育活動が展開されています。ありがとうございます。

長い休業を経ての園再開で、私が子供たちと久しぶりに会い感じたことは、子供たちがどれほどまでに幼稚園に登園することに期待をしていたか、ということです。長い休業でしたが一つ大きい学年に進級すること、新たに入園し幼稚園児になることに期待をもち続けてくれたことを嬉しく思うと同時に、期待をもち続けられるよう子供たちの気持ちを支えてくださった保護者の皆様に感謝しています。

今年度初めての外遊びの日、始めに担任から渡された新しいカラー帽子を被り、外に出てきたのは年長ばら組。子供たちはまだのりがぱりっと効いたピカピカの黄緑のカラー帽子を嬉しそうに被り、走って外へと出掛けていきました。外遊びを終え、保育室に戻ってきた年中たんぽぽ組の子供には、「あれ？(年少組のカラーの)ピンクじゃなくて(年中組のカラーの)黄色なの？」と聞くと、「そうだよ、おねえさんだもん！」と自慢げに答えてくれました。(「(名札)バッジも黄色だよ！」とも。)年少もも組の子供たちも、幼稚園児の証であるカラー帽子を被る姿から、幼稚園児になった誇らしさを感じているように見てとれました。他にも「幼稚園の子になったから」と言わんばかりに園で一生懸命に遊ぼうとする年少もも組の子供たち、新たな園生活のルールを確認しながら友達と一緒に遊ぼうとする年中たんぽぽ組の子供たち、係りの仕事や当番活動で、自分ができることを責任もって行い、また自分だけでなく周りの友達のことを気遣いながら動く年長ばら組の子供たちです。

子供たちの姿から、以前園だよりにも書いた一節ですが、私の恩師、柴崎正行先生が著書の中で書かれた、「保育者として、理想的なかわりを保障してあげられないかもしれないでも、今、私に、そして私たちにできる最大限のことは努力してみよう、という心意気だけは失いたくないのです。」を思い出しました。これは、保育者としての責務、心意気を述べた一節ですが、子供たちの中にも、幼稚園に通う子供としての「心意気」を感じました。自分は幼稚園児であることを喜び、自分なりの「幼稚園の子供とはこうあるべき」をイメージし、理想とする幼稚園児であろうとしています。子供たちは一生懸命に幼稚園児としての生活を過ごそうとしています。ときに無理や背伸びをしているようにも感じられますが、そんなときは少し気持ちを緩められるようにしつつ、幼児の「心意気」を成長に向かうモチベーションにつなげられるよう、教職員で支えていきます。

## 楽しいこといっぱい！子供たちの園生活

### < 3 歳もも組 >

先生、一緒に遊ぼう！ 作ったよ！ 楽しいこといっぱいだね！

幼稚園生活が始まって1ヶ月が経ち、初めは涙を見せる子や少し緊張している子もいましたが、少しずつ楽しいことを見つけ始めました。ままごと遊びでは、「一緒にご飯作ろうよ。」声を掛けてくれたり、砂場遊びでは「プリン作ったよ！」「一緒に大きな山を作ろうよ。」と誘ったりして、教師に親しみを感じながら、幼稚園が安心して過ごせる場所になってきているようです。

みんなで一緒にする手遊びやリズム遊びも楽しくなっているようで、「もう1回やりたい！」と毎日楽しみに集まってきます。新しい歌や踊りもすぐに覚えて笑顔いっぱい踊る姿や、覚えた歌を口ずさむ姿が増え、毎日嬉しいことの連続なようです。

引き続き、水遊びや泥遊びを通して、さらに『初めて』のことをたくさん経験していきます。一人ひとりの体調に気を付けながら、安全にそして楽しく過ごしていきます。

### < 4 歳たんぼぼ組 >

友達と一緒にだと嬉しいね！たくさん、たくさん遊ぼうね！

ここにこの笑顔と元気な「おはようございます！」の声でたんぼぼ組の一日が始まります。みかんチームとりんごチームで集まる時間が違ったり、隣の友達と離れて座ったりと、いつもと違う幼稚園がスタートしましたが、新しい生活の仕方を子供たちなりに理解し、頑張る姿が見られました。さあ、7月からはたんぼぼ組全員で、リスタートです！プール遊びはできませんが、水鉄砲で的当て遊びをして、夏ならではの水遊びを楽しんだり、ダイナミックに砂場遊びをしたりして、たくさん遊んでいきます。そして、みんなでリズムや手遊びをして体を動かしたり、絵本を楽しんだり、学級のつながりを感じられるように過ごしていきます。あっという間に夏休みがやってきますが、心に残る1学期になるように毎日を大切に過ごします。

### < 5 歳ばら組 >

年長組だからできるんだよ。考えたり工夫したりするのって楽しいね。

年長組としての生活に徐々に慣れ始めてきた子供たち。登園後は、一日の予定を聞いて自分なりに見通しをもって一日をスタートさせています。その後は、友達と力を合わせて係の仕事を行います。まだまだ手際よくとはいきませんが、友達と声を掛け合い、手順を確認しながら取り組んでいます。好きな遊びでは、大型積み木を使い、基地や家を作ってごっこ遊びをしたり、巧技台を使って遊園地ごっこを楽しんだり、ダイナミックに遊んでいます。年長組になって使えるようになったもので遊べることを喜びながら、友達と一緒に作り上げていく楽しさを感じている子供たちです。7月からは、全員揃っての園生活になります。色水遊びや泥遊びなどを通して、引き続き、子供たちが遊びの中で友達と力を合わせ、様々な遊びの中での工夫や学びが得られるように援助していきます。